

# 全一般愛知地

＝発行＝

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部＝煤本国治  
住所：名古屋市中区沢下町9-3  
労働会館本館405

## 新年明けましておめでとう

組合員の皆さん  
新年あけましておめでとう  
ございます。

昨年安倍政権が退陣し、菅政権が誕生しましたが、新型コロナウイルス感染拡大で国民の命がかかった重大局面での国会閉会「桜を見る会」前夜祭での安倍晋三前首相側の費用補填、吉川貴盛元農水相の贈収賄疑惑、日本学術会議に対する違憲・違法の任命拒否など菅政権の対応に対する不満と不信が日増しに強まっています。感染拡大に伴う解雇や雇い止め、飲食業や商店・業者など中小企業経営と地域経済の落ち込みは一層深刻さを増しています。

政府のコロナ対応についても世論調査で「評価しない」が上回り菅政権の対応は「無為無策」「逆行」だとして、感染急拡大のもと「Go Toトラベル」事業に固執しコロナ感染が増加する状況が生まれています。昨年10月の消費税の増税で個人消費は落ち込み、コロナ禍でさらに落ち込みました。

コロナ禍だからこそ大幅賃上げと、最低賃金を大幅に引き上げ消費購買力を引き上げることが必要です。その為にも、全労連の春闘方針「4つのつくる」「3つのルール」に基づき、賃金大幅引き上げ・底上げで、誰もが人間らしくくら

せる「生活をつくる」、安定雇用と労働時間規制で人間らしく「働くルールをつくる」、命が守られ安心して暮せる「医療・社会保障と公共体制をつくる」、改憲を阻止し、「憲法が生きかされる社会をつくる」、人格差の見える化V△組織強化・拡大V△総選挙で変えるVを軸に大いに奮闘しましょう。

愛知地本では、3件の争議が地裁で係争中となっています。特にアクリルの争議は工場閉鎖・による解雇事件、FM愛知のTさん、北部青年ユニオンのWさんの事件についても早期解決に向けての闘いに全力を挙げ取り組み、組織拡大に力を注げる体制を作りましょう。その為にも地本への結集を呼びかけます。

執行委員長 煤本国治



2021年

### 1月9日(土)：愛労連主催 単産地域代表者会議開催 & 春闘共闘会議主催の旗開き・学習会

新年早々の1月9日に愛労連の単産地域代表者会議と春闘共闘会議の旗開き&学習会がありましたのでご報告いたします。

#### 単産・地域代表者会議

コロナ感染が広がり、1都3県に緊急事態宣言が発出され愛知も感染者が400名を超え東京都との人口比で見れば同数の感染者数に上ることから緊急事態宣言の要望を出すよう要請することが言われています。主催者からはコロナ禍の中での2021春闘どう闘うかで4つの作る。①まともな生活②安定雇用・労働③命守公

共同体④改憲阻止平和を作る。3つのアプローチ①格差是正・格差の見える化②組織拡大強化・労働組合の見える化③総選挙・投票に行こう。「コロナ禍だからこそ賃上げは必要」の世論形成をすすめストライキを始め職場の闘いと労働組合の姿と闘いを可視化していくその為SNSでの発信を大いに進めていく事が報告されました。

#### 愛知回民春闘共闘旗開き・学習会

昼からは、学習会で最賃問題を自民党の最低賃金一元

#### 全労連議長メッセージ

春闘共闘、全労連の旗開きが中止になった関係で議長メッセージがYoutubeで公開されました。URLをお知らせいたしますので是非ごらん下さい。

<https://youtu.be/k4TGeGFSIMM>

化推進議員連盟の事務局長・衆議院議員の務台俊介氏から「全国一律最低賃金の必要」と実現の展望」と題して語られ、菅総理大臣に対して、生産性は賃金水準そのものであり、賃金を上げなければ将来の社会保障も支えられず、賃金を上げないという事は社会保障を維持できなくなると言っている事と同議であるという認識に立ち、今回のコロナ禍の厳しい状況にあっても、将来を見通し、最低賃金の水準を少しでも上げることに取り組みべきであると緊急提言を昨年12月に行ったことが紹介され、また、この中で国土構造の在り方として、若者を地方に分散させることで東京一極集中を是正する観点からも、全国一律最低賃金は不可欠な政策だと言いつつ、デフ

### 2021春闘方針(案)

職場と地域で目に見える活動で、未来を切り拓く労働組合コロナ禍の下で、多くの労働者と国民が困難に陥っています。医療や介護、保育、公共関係などで働くエッセンシャルワーカー、そして女性と若

レから抜け出すためには、最低賃金の引き上げが切り札ともいべき政策であり、政府並びに自民党の英断を期待する。とまで提言書には書かれています。また、賃金や社会保障料の支払いへの直接助成の検討、終局的には法改正が必要、コロナによる生活の変容は最賃制度を再考するきっかけになるのではないかとの発言、英国では昨年4月から最低賃金を2%引上げられ、その分労働時間の短縮が行われたこと等多岐にわたって報告がされました。務台氏からイデオロギーや立場を超えて運動を進めることが大事であり、全労連の活動にも期待をしていることが発言されました。

(記 執行部)

者が深刻な状態です。自殺者が昨年比で4割増え、特に女性の自殺が前年比83%と激増しています。学生やフリーランスも将来不安を持ち、中小企業・業者も廃業を検討せざるを得ない情勢です。困難なときだからこそ、対話や呼び

かけで共感が広がる可能性が広がっています。全労連・国民春闘共闘は、全国で全戸配布ビラの配布などの宣伝や150万対話を呼びかけています。21春闘では、職場と地域で「目に見える」組合運動を進める必要があります。全国一般は、組織拡大だけでなく、共済拡大、中小企業経営者などな対話を通して、共感を広げていきたいと思えます。困難なときだからこそ、対話を広げ、一歩踏み出せば可能性は広がっています。また、積極的にSNS(ツイッターなど)を活用し、職場や地域で起きている実態や訴え、最低賃金などを発信する取り組みを呼びかけます。

「最低賃金と中小企業振興」と「組合活動の5つの基本」を軸にして、格差と貧困、性別や雇用形態、国籍などあらゆる差別をなくし、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を基本に対話と共感を広げます。全国一律最賃制度実現の可能性が広がる中、財界も国政への働きかけを強化しています。21年春闘は、財界・大企業と

労働組合との激しいせめぎ合いが始まっています。

### 要求実現の基本方向

職場で信頼される「5つの組合活動の基本」

「非正規」と「正規」の均等待遇や全国一律最低賃金実現、社会保障改悪、憲法9条改悪など情勢を学べば職場のたたかいがとて重要だということが分かります。コロナ感染拡大や首相交代など21春闘は新たなたたかいが必要です。改めて「5つの組合活動」でしっかりと確認し、仲間知らせ、学ぶことが労働者と職場の力になります。職場活動の基本すべてを行うのは簡単ではありません。しかし、「21春闘ではコレだけは実現しよう」とみんなを決めることが大切です。困難なときこそ、勇気を持って職場の仲間や役員、地方組織役員と相談し、先延ばしではなく「どうしたらできるのか」を話し合いましょ。

必ず、①執行委員会など会議を開き、②情勢を学び、③アンケート内容を検討して実施します。その回答を集計して

④ニュースを発行します。そして⑤全員で署名や行動に取り組みましょう。実現を求めていきます。(中央本部方針より抜粋)

### 今後の予定

一月二四日(日)愛労連第63回臨時大会(日本ガイシフォーラム)

一月三十一日(日)アクリル争議支援共闘会議

二月二日(木)トヨタ総行動早朝宣伝(ミッドランド前)

二月二日(土)全国一般中央執行委員会(舟橋)

二月五日(木)地本執行委員会

三月二日(土)全国一般中央執行委員会



### 編集後記

新型コロナウイルスの感染はとどまるところを知りません。この影響は一年経っても変わらず、むしろ拡大し働くものの生活を脅かしています。早く収束してもらいたいです。組合の色々な活動も制約を受け、結果的に機関誌への掲載記事も減少し、紙面作成に難儀しています。が、月1の発行に努めたいと思います。(U)